

543のよぶね 2008

冬至 2008.12.21 日曜 6:00pm頃～8:00pm頃迄

※ 右岸プロムナードを中心とした
長良川河畔一帯
※ 参加料 無料

543のよぶね について。。

趣旨

2006年秋、岐阜市出身のアーティスト日比野克彦の大規模な展覧会が岐阜県美術館にて開催されたことをきっかけとし、アートで人々の心をつなぎ、岐阜の持つ魅力を再発見するためのさまざまなプロジェクトが開催されました。その中心的なプロジェクトとして、地元の和紙と竹を使用し、数字を象った巨大行灯を長良川に流す〈こよみのよぶね〉が、市民による100%ボランティアで開始され、今年で3年目になります。

今年も、市民、企業、行政との連携・協働強化を図りつつ、約半年間、多数の人々が自由に参加し、交流する行灯制作の過程を大切にしながら、和紙や提灯という岐阜の文化資産に触れる機会を創出するとともに、制作した行灯を12月21日(冬至の日)に、12艘の屋形船に乗せて長良川を回遊させる〈こよみのよぶね2008〉の実施を目指します。

新しくも懐かしい、岐阜の冬の風物詩を作りあげていきたいと願っています。

543のよぶね ができるまで。。

1. 竹割り

竹割り器で、一本の竹を数本に割ります。見事です！



2. 竹組み

竹の輪をたくさん作り、数字の形の行灯になるように、組みます。骨組みは大切です。



3. 色塗り(和紙)

和紙に色をぬります。水色・黄緑・オレンジ・黄色など。洗濯物のように干します。



4. 紙はり

これは数字の〈8〉です。みんなが手分けしてノリで、和紙を貼っていきます。



5. こよみのよぶね

清流長良川に流れるこよみのよぶねを見て、一年を振り返り、新しい年を迎え入れます。



「こよみのよぶね2008」
あんどんツクリビト募集！
下記のお問い合わせまで☆

543のよぶね 月こよみのイベント。。

こよみのよぶねの舞台となる長良川と、それをとりまくいくつもの“場所”。

それぞれの場所の特性を活かしたワークショップやイベントを行っていく中で、6月の夏至から12月の冬至(そして1月の左義長)へと繋がる一つのストーリーを描き出していきたい。

それは、金華山、長良川という自然を背景に、自然の移り変わり人と人の関わりが生み出した「こよみ」を体感できる、半年間のプログラムです。プロジェクト全体を通じて、“場”に意味づけし、“場”を活かし、“場”によって人をつなげ、そのための“しつらい”と“もてなし”にこだわり、地元“ベース”を固め、次へのステップへと進んでいきたいと願っています。

そんな願いで、満月の日に毎月催し物を開きます。みなさん気軽にご参加ください。

ふと、夜空を見上げ、月が大きく膨らんできつつあるのに気づいたら、「そろそろよぶねが何かしているな」と思っていたら幸いです。

(※下記予定です。随時「広報ぎふ」や「こよみのよぶねサイト」<<http://www.dnaand.org/>>で更新いたします)

スケジュール表

☆ 7月18日 金	「こよみのよぶね点灯式！&セレモニー」 やながせ造船所にて 15時より	11月13日 木	未定
8月17日 日	「みつろうキャンドルづくり」 やながせ造船所にて 時間、内容未定	12月13日 土	未定
9月15日 月	「手持ちちょうちんづくり」 岐阜の長良川右岸のお寺にて 時間、内容未定	12月21日 日	本番 冬至「こよみのよぶね2008」
10月15日 水	「こよみのよぶねプレ～10月船」 岐阜長良川右岸にて		

◎ こよみのよぶね活動は、ボランティアで運営、実施されています。ついては、この活動をご理解いただける方へ、<こよみのよぶねドネーションボックス(活動協力金)>としてご支援、ご協力をお願いしております。ご検討いただける方は、お手数ですが下記までお問い合わせくださいませ。

【こよみのよぶね 2008 へのお問い合わせ先】

● こよみのよぶね 2008 実行委員会 事務局
岐阜県岐阜市数田南 4-7-22 「カスガイホームズ」内
TEL 058-271-3165
URL <http://www.dnaand.org/>

● 岐阜市役所 市民参画部市民参画政策課
岐阜市神田町 1-11
TEL 058-265-4141 (内線 6153)

MAIL info@dnaand.org